

令和8年度新規地区採択チェックリスト

(8-1) 農業競争力強化基盤整備事業(農業競争力強化農地整備事業(農地整備事業))

(都道府県名:福井県)(地区名:木部新保)

1. 必須事項

項目	評価の内容	判定
1. 事業の必要性が明確であること。(必要性)	・農業生産性の向上、農業総生産の維持・増大、農業生産の選択的拡大、農業構造の改善、営農環境の改善等の観点から、当該事業を必要とすること。	<input type="checkbox"/>
2. 技術的可能性が確実であること。	・地形、地質、水利状況等からみて、当該事業の施行が技術的に可能であること。	<input type="checkbox"/>
3. 事業の効率性が十分見込まれること。(効率性)	・当該事業の効用の発現が十分に見込まれ、すべての効用がそのすべての費用を償うこと。	<input type="checkbox"/>
4. 受益者負担の可能性が十分であること。(公平性)	・当該事業の費用に係る受益農家の負担が、農業経営の状況からみて、負担能力の限度を超えることとならないこと。	<input type="checkbox"/>
5. 環境との調和に配慮していること。	・当該事業が環境との調和に配慮したものであること。	<input type="checkbox"/>
6. 事業の採択要件を満たしていること。	・事業実施要綱・要領に規定された事業内容、採択基準の要件に適合していること。	<input type="checkbox"/>

項目を満たしている場合は「○」とする。

項目欄の()には、主として考えられる観点を記述している。

令和8年度新規地区採択チェックリスト

(8-1) 農業競争力強化基盤整備事業(農業競争力強化農地整備事業(農地整備事業))

(都道府県名: 福井県)(地区名: 木部新保)

2. 優先配慮事項

【効率性・有効性】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
効率性	事業の経済性・効率性		①事業費の経済性・効率性の確保	—	○	A
			②コスト縮減についての具体的配慮	—	○	
有効性	食料安全保障の確保	農業生産性の維持・向上	土地生産性及び労働生産性の維持・向上効果額(受益面積当たり)	千円/ha・年	1,607	A
			スマート農業技術等の導入	—	A	A
			大区画化ほ場の割合	%	75.3	A
			①担い手の米の生産コストの労働費	円/60kg	3,018	B
			②事業実施前と比較した担い手の米の生産コストの労働費	割	8	
			産地収益力の向上	①高収益作物の生産額の増加率	%	1,791.4
	②高収益作物の作付面積の増加率	%		1,666.7		
	農業の持続的発展	望ましい農業構造の確立	担い手への農地利用集積率	%	92.0	A
			担い手への面的集積率	%	100.0	A
		農地の確保・有効利用	①耕地利用率	%	132.4	A
	②作付率の増加ポイント	%	5.6			
	農村の振興	地域経済への波及効果	他産業への経済波及効果額(受益面積当たり)	千円/ha・年	423	B
		農業の高付加価値化	①農業の高付加価値化や6次産業化に向けた取組	—	—	B
	②地域活性化に係る話し合い	—	○			
多面的機能の発揮	地域の共同活動	多面的機能支払交付金等の取組	—	○	A	
環境と調和のとれた食料システムの確立	みどりの食料システム戦略に係る取組 生態系・景観への配慮	「みどりの食料システム戦略」に係る取組の検討状況	—	○	A	
		①環境情報協議会等の意見を踏まえた生態系及び景観への配慮	—	a	A	
		②地域住民の参加や地域住民との合意形成への取組	—	a		
③維持管理、費用負担、モニタリング体制等の調整状況	—	a				

【事業の実施環境等】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
事業の実施環境等	連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定		連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定状況	—	B	B
	関係計画との連携		①都道府県や市町村が策定する農業振興計画や農業振興地域整備計画等と本事業との整合性 ②高生産性優良農業地域対策に基づく広域農業農村整備促進計画との整合性 ③地域計画と本事業との整合性 ④地域における開発計画と本事業との整合性 ⑤関係計画における関連事業等への位置付け	—	a — a a —	A
	関係機関との連携		農地中間管理機構との連携	—	—	B
	関係機関との協議		①河川管理者との協議（予備）の状況 ②その他着工前に重要な協議（予備）の状況	—	— a	A
	地元合意		①事業実施に対する受益農家の同意状況 ②事業実施に対する関係市町村の同意状況 ③事業推進協議会から着工要望の提出 ④維持管理方法と費用負担に関する予定管理者との合意 ⑤事業に伴う土地利用規制の周知状況	—	a a a a a	A
	営農推進体制・環境		①営農部局との連携 ②営農推進組織等（営農支援体制）の設立状況 ③農産物の流通・販売基盤の整備状況 ④需要に応じた生産の取組状況 ⑤フラッグシップ輸出産地又は輸出事業計画（GFPグローバル産地計画）の対象となる作物の営農計画への位置付け状況	—	a a a a —	A
	緊急性		①国営事業等関連する他の公共事業との関係で緊急性が高い ②老朽化等による施設機能低下や農業被害の発生状況、地域の農家の減少、荒廃農地の増加状況から、施設整備の緊急性が高い	—	— ○	B
	ストック効果の最大化		ストック効果の最大化に向けた事業の効率性・有効性等の確保	%	68.4	B

木部新保地区の事業の効用に関する説明資料

1 総費用総便益比の算定

(1) 総費用総便益比の総括

(単位：千円)

区 分	算 定 式	数 値
総費用（現在価値化）	①=②+③	2,097,491
当該事業による費用	②	1,427,099
関連事業による費用、資産価額、再整備費	③	670,392
評価期間（当該事業の工事期間+40年）	④	46年
社会的割引率		4%
総便益額（現在価値化）	⑤	2,894,336
総費用総便益比	⑥=⑤÷①	1.37

(2) 総費用の総括

(単位：千円)

区 分	施 設 名 (又は工種)	資産価額 (事業着工 時点) ①	当該事業 による費 用 ②	関連事業 による費 用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間 終了時点) ⑤	総費用 ⑥= ①+②+③ +④-⑤
当 該 事 業	農業用排水施設整備	-	1,068,713	-	229,538	103,378	1,194,873
	暗渠排水	-	358,386	-	131,369	17,594	472,161
	計	-	1,427,099	-	360,907	120,972	1,667,034
そ の 他	幹線排水路	24,684	-	-	490,290	84,517	430,457
	計	24,684	-	-	490,290	84,517	430,457
合 計		24,684	1,427,099	-	851,197	205,489	2,097,491

(3) 年総効果額の総括

(単位：千円)

効果項目	区分	年 総 効 果 (便 益) 額	効果の要因
食料の安定供給の確保に関する効果			
作物生産効果		6,437	農業用排水施設整備、暗渠排水を実施した場合と実施しなかった場合での作物生産量が増減する効果
営農経費節減効果		153,629	農業用排水施設整備、暗渠排水を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果		△ 185	農業用排水施設整備を実施した場合と実施しなかった場合での施設の維持管理費が増減する効果
多面的機能の発揮に関する効果			
景観・環境保全効果		1,004	農業用排水施設整備にあたり、周辺の景観や環境へ配慮した設計・構造を合わせもった施設として整備されることで発揮される効果
その他の効果			
国産農産物安定供給効果		2,284	農業用排水施設整備、暗渠排水の実施により農業生産性の向上や営農条件等の改善が図られ、国産農産物の安定供給に寄与する効果
合 計		163,169	

(4) 総便益額算出表-1

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	作物生産効果(農業用排水施設)					備考	
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計 同 左 割 引 後 (千円) ⑦=⑥÷①		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割 合 (%) ④	年 発 生 効 果 額 (千円) ⑤=③×④			年効果額 (千円) ⑥=②+⑤
1	R8	1.0400	1	1,356	-	-	-	1,356	1,304	
2	R9	1.0816	2	1,356	-	-	-	1,356	1,254	
3	R10	1.1249	3	1,356	-	-	-	1,356	1,205	
4	R11	1.1699	4	1,356	-	-	-	1,356	1,159	
5	R12	1.2167	5	1,356	-	-	-	1,356	1,114	
6	R13	1.2653	6	1,356	-	-	-	1,356	1,072	
7	R14	1.3159	7	1,356	-	-	-	1,356	1,030	
8	R15	1.3686	8	1,356	-	-	-	1,356	991	
9	R16	1.4233	9	1,356	-	-	-	1,356	953	
10	R17	1.4802	10	1,356	-	-	-	1,356	916	
11	R18	1.5395	11	1,356	-	-	-	1,356	881	
12	R19	1.6010	12	1,356	-	-	-	1,356	847	
13	R20	1.6651	13	1,356	-	-	-	1,356	814	
14	R21	1.7317	14	1,356	-	-	-	1,356	783	
15	R22	1.8009	15	1,356	-	-	-	1,356	753	
16	R23	1.8730	16	1,356	-	-	-	1,356	724	
17	R24	1.9479	17	1,356	-	-	-	1,356	696	
18	R25	2.0258	18	1,356	-	-	-	1,356	669	
19	R26	2.1068	19	1,356	-	-	-	1,356	644	
20	R27	2.1911	20	1,356	-	-	-	1,356	619	
21	R28	2.2788	21	1,356	-	-	-	1,356	595	
22	R29	2.3699	22	1,356	-	-	-	1,356	572	
23	R30	2.4647	23	1,356	-	-	-	1,356	550	
24	R31	2.5633	24	1,356	-	-	-	1,356	529	
25	R32	2.6658	25	1,356	-	-	-	1,356	509	
26	R33	2.7725	26	1,356	-	-	-	1,356	489	
27	R34	2.8834	27	1,356	-	-	-	1,356	470	
28	R35	2.9987	28	1,356	-	-	-	1,356	452	
29	R36	3.1187	29	1,356	-	-	-	1,356	435	
30	R37	3.2434	30	1,356	-	-	-	1,356	418	
31	R38	3.3731	31	1,356	-	-	-	1,356	402	
32	R39	3.5081	32	1,356	-	-	-	1,356	387	
33	R40	3.6484	33	1,356	-	-	-	1,356	372	
34	R41	3.7943	34	1,356	-	-	-	1,356	357	
35	R42	3.9461	35	1,356	-	-	-	1,356	344	
36	R43	4.1039	36	1,356	-	-	-	1,356	330	
37	R44	4.2681	37	1,356	-	-	-	1,356	318	
38	R45	4.4388	38	1,356	-	-	-	1,356	305	
39	R46	4.6164	39	1,356	-	-	-	1,356	294	
40	R47	4.8010	40	1,356	-	-	-	1,356	282	
41	R48	4.9931	41	1,356	-	-	-	1,356	272	
42	R49	5.1928	42	1,356	-	-	-	1,356	261	
43	R50	5.4005	43	1,356	-	-	-	1,356	251	
44	R51	5.6165	44	1,356	-	-	-	1,356	241	
45	R52	5.8412	45	1,356	-	-	-	1,356	232	
46	R53	6.0748	46	1,356	-	-	-	1,356	223	
合計 (総便益額)									28,318	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-1

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	作物生産効果(暗渠排水)						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	-	5,081	0.0	0	0	0	
2	R9	1.0816	2	-	5,081	16.9	859	859	794	
3	R10	1.1249	3	-	5,081	33.0	1,677	1,677	1,491	
4	R11	1.1699	4	-	5,081	50.0	2,541	2,541	2,172	
5	R12	1.2167	5	-	5,081	66.9	3,399	3,399	2,794	
6	R13	1.2653	6	-	5,081	83.0	4,217	4,217	3,333	
7	R14	1.3159	7	-	5,081	100.0	5,081	5,081	3,861	
8	R15	1.3686	8	-	5,081	100.0	5,081	5,081	3,713	
9	R16	1.4233	9	-	5,081	100.0	5,081	5,081	3,570	
10	R17	1.4802	10	-	5,081	100.0	5,081	5,081	3,433	
11	R18	1.5395	11	-	5,081	100.0	5,081	5,081	3,300	
12	R19	1.6010	12	-	5,081	100.0	5,081	5,081	3,174	
13	R20	1.6651	13	-	5,081	100.0	5,081	5,081	3,051	
14	R21	1.7317	14	-	5,081	100.0	5,081	5,081	2,934	
15	R22	1.8009	15	-	5,081	100.0	5,081	5,081	2,821	
16	R23	1.8730	16	-	5,081	100.0	5,081	5,081	2,713	
17	R24	1.9479	17	-	5,081	100.0	5,081	5,081	2,608	
18	R25	2.0258	18	-	5,081	100.0	5,081	5,081	2,508	
19	R26	2.1068	19	-	5,081	100.0	5,081	5,081	2,412	
20	R27	2.1911	20	-	5,081	100.0	5,081	5,081	2,319	
21	R28	2.2788	21	-	5,081	100.0	5,081	5,081	2,230	
22	R29	2.3699	22	-	5,081	100.0	5,081	5,081	2,144	
23	R30	2.4647	23	-	5,081	100.0	5,081	5,081	2,062	
24	R31	2.5633	24	-	5,081	100.0	5,081	5,081	1,982	
25	R32	2.6658	25	-	5,081	100.0	5,081	5,081	1,906	
26	R33	2.7725	26	-	5,081	100.0	5,081	5,081	1,833	
27	R34	2.8834	27	-	5,081	100.0	5,081	5,081	1,762	
28	R35	2.9987	28	-	5,081	100.0	5,081	5,081	1,694	
29	R36	3.1187	29	-	5,081	100.0	5,081	5,081	1,629	
30	R37	3.2434	30	-	5,081	100.0	5,081	5,081	1,567	
31	R38	3.3731	31	-	5,081	100.0	5,081	5,081	1,506	
32	R39	3.5081	32	-	5,081	100.0	5,081	5,081	1,448	
33	R40	3.6484	33	-	5,081	100.0	5,081	5,081	1,393	
34	R41	3.7943	34	-	5,081	100.0	5,081	5,081	1,339	
35	R42	3.9461	35	-	5,081	100.0	5,081	5,081	1,288	
36	R43	4.1039	36	-	5,081	100.0	5,081	5,081	1,238	
37	R44	4.2681	37	-	5,081	100.0	5,081	5,081	1,190	
38	R45	4.4388	38	-	5,081	100.0	5,081	5,081	1,145	
39	R46	4.6164	39	-	5,081	100.0	5,081	5,081	1,101	
40	R47	4.8010	40	-	5,081	100.0	5,081	5,081	1,058	
41	R48	4.9931	41	-	5,081	100.0	5,081	5,081	1,018	
42	R49	5.1928	42	-	5,081	100.0	5,081	5,081	978	
43	R50	5.4005	43	-	5,081	100.0	5,081	5,081	941	
44	R51	5.6165	44	-	5,081	100.0	5,081	5,081	905	
45	R52	5.8412	45	-	5,081	100.0	5,081	5,081	870	
46	R53	6.0748	46	-	5,081	100.0	5,081	5,081	836	
合計 (総便益額)									90,064	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-2

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	営農経費節減効果(農業用排水施設)						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	52	108,809	0.0	0	52	50	
2	R9	1.0816	2	52	108,809	17.0	18,498	18,550	17,151	
3	R10	1.1249	3	52	108,809	32.9	35,798	35,850	31,869	
4	R11	1.1699	4	52	108,809	50.0	54,405	54,457	46,548	
5	R12	1.2167	5	52	108,809	67.0	72,902	72,954	59,961	
6	R13	1.2653	6	52	108,809	82.9	90,203	90,255	71,331	
7	R14	1.3159	7	52	108,809	100.0	108,809	108,861	82,727	
8	R15	1.3686	8	52	108,809	100.0	108,809	108,861	79,542	
9	R16	1.4233	9	52	108,809	100.0	108,809	108,861	76,485	
10	R17	1.4802	10	52	108,809	100.0	108,809	108,861	73,545	
11	R18	1.5395	11	52	108,809	100.0	108,809	108,861	70,712	
12	R19	1.6010	12	52	108,809	100.0	108,809	108,861	67,996	
13	R20	1.6651	13	52	108,809	100.0	108,809	108,861	65,378	
14	R21	1.7317	14	52	108,809	100.0	108,809	108,861	62,864	
15	R22	1.8009	15	52	108,809	100.0	108,809	108,861	60,448	
16	R23	1.8730	16	52	108,809	100.0	108,809	108,861	58,121	
17	R24	1.9479	17	52	108,809	100.0	108,809	108,861	55,886	
18	R25	2.0258	18	52	108,809	100.0	108,809	108,861	53,737	
19	R26	2.1068	19	52	108,809	100.0	108,809	108,861	51,671	
20	R27	2.1911	20	52	108,809	100.0	108,809	108,861	49,683	
21	R28	2.2788	21	52	108,809	100.0	108,809	108,861	47,771	
22	R29	2.3699	22	52	108,809	100.0	108,809	108,861	45,935	
23	R30	2.4647	23	52	108,809	100.0	108,809	108,861	44,168	
24	R31	2.5633	24	52	108,809	100.0	108,809	108,861	42,469	
25	R32	2.6658	25	52	108,809	100.0	108,809	108,861	40,836	
26	R33	2.7725	26	52	108,809	100.0	108,809	108,861	39,265	
27	R34	2.8834	27	52	108,809	100.0	108,809	108,861	37,754	
28	R35	2.9987	28	52	108,809	100.0	108,809	108,861	36,303	
29	R36	3.1187	29	52	108,809	100.0	108,809	108,861	34,906	
30	R37	3.2434	30	52	108,809	100.0	108,809	108,861	33,564	
31	R38	3.3731	31	52	108,809	100.0	108,809	108,861	32,273	
32	R39	3.5081	32	52	108,809	100.0	108,809	108,861	31,031	
33	R40	3.6484	33	52	108,809	100.0	108,809	108,861	29,838	
34	R41	3.7943	34	52	108,809	100.0	108,809	108,861	28,691	
35	R42	3.9461	35	52	108,809	100.0	108,809	108,861	27,587	
36	R43	4.1039	36	52	108,809	100.0	108,809	108,861	26,526	
37	R44	4.2681	37	52	108,809	100.0	108,809	108,861	25,506	
38	R45	4.4388	38	52	108,809	100.0	108,809	108,861	24,525	
39	R46	4.6164	39	52	108,809	100.0	108,809	108,861	23,581	
40	R47	4.8010	40	52	108,809	100.0	108,809	108,861	22,675	
41	R48	4.9931	41	52	108,809	100.0	108,809	108,861	21,802	
42	R49	5.1928	42	52	108,809	100.0	108,809	108,861	20,964	
43	R50	5.4005	43	52	108,809	100.0	108,809	108,861	20,158	
44	R51	5.6165	44	52	108,809	100.0	108,809	108,861	19,382	
45	R52	5.8412	45	52	108,809	100.0	108,809	108,861	18,637	
46	R53	6.0748	46	52	108,809	100.0	108,809	108,861	17,920	
合計(総便益額)									1,929,772	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-2

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	営農経費節減効果(暗渠排水)						備考
				更新分に 係る効果		新設及び機能向上分 に係る効果		計		
				年効果額 (千円) ②	年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	-	44,768	0.0	0	0	0	
2	R9	1.0816	2	-	44,768	16.9	7,566	7,566	6,995	
3	R10	1.1249	3	-	44,768	33.0	14,773	14,773	13,133	
4	R11	1.1699	4	-	44,768	50.0	22,384	22,384	19,133	
5	R12	1.2167	5	-	44,768	66.9	29,950	29,950	24,616	
6	R13	1.2653	6	-	44,768	83.0	37,157	37,157	29,366	
7	R14	1.3159	7	-	44,768	100.0	44,768	44,768	34,021	
8	R15	1.3686	8	-	44,768	100.0	44,768	44,768	32,711	
9	R16	1.4233	9	-	44,768	100.0	44,768	44,768	31,454	
10	R17	1.4802	10	-	44,768	100.0	44,768	44,768	30,245	
11	R18	1.5395	11	-	44,768	100.0	44,768	44,768	29,080	
12	R19	1.6010	12	-	44,768	100.0	44,768	44,768	27,963	
13	R20	1.6651	13	-	44,768	100.0	44,768	44,768	26,886	
14	R21	1.7317	14	-	44,768	100.0	44,768	44,768	25,852	
15	R22	1.8009	15	-	44,768	100.0	44,768	44,768	24,859	
16	R23	1.8730	16	-	44,768	100.0	44,768	44,768	23,902	
17	R24	1.9479	17	-	44,768	100.0	44,768	44,768	22,983	
18	R25	2.0258	18	-	44,768	100.0	44,768	44,768	22,099	
19	R26	2.1068	19	-	44,768	100.0	44,768	44,768	21,249	
20	R27	2.1911	20	-	44,768	100.0	44,768	44,768	20,432	
21	R28	2.2788	21	-	44,768	100.0	44,768	44,768	19,645	
22	R29	2.3699	22	-	44,768	100.0	44,768	44,768	18,890	
23	R30	2.4647	23	-	44,768	100.0	44,768	44,768	18,164	
24	R31	2.5633	24	-	44,768	100.0	44,768	44,768	17,465	
25	R32	2.6658	25	-	44,768	100.0	44,768	44,768	16,793	
26	R33	2.7725	26	-	44,768	100.0	44,768	44,768	16,147	
27	R34	2.8834	27	-	44,768	100.0	44,768	44,768	15,526	
28	R35	2.9987	28	-	44,768	100.0	44,768	44,768	14,929	
29	R36	3.1187	29	-	44,768	100.0	44,768	44,768	14,355	
30	R37	3.2434	30	-	44,768	100.0	44,768	44,768	13,803	
31	R38	3.3731	31	-	44,768	100.0	44,768	44,768	13,272	
32	R39	3.5081	32	-	44,768	100.0	44,768	44,768	12,761	
33	R40	3.6484	33	-	44,768	100.0	44,768	44,768	12,271	
34	R41	3.7943	34	-	44,768	100.0	44,768	44,768	11,799	
35	R42	3.9461	35	-	44,768	100.0	44,768	44,768	11,345	
36	R43	4.1039	36	-	44,768	100.0	44,768	44,768	10,909	
37	R44	4.2681	37	-	44,768	100.0	44,768	44,768	10,489	
38	R45	4.4388	38	-	44,768	100.0	44,768	44,768	10,086	
39	R46	4.6164	39	-	44,768	100.0	44,768	44,768	9,698	
40	R47	4.8010	40	-	44,768	100.0	44,768	44,768	9,325	
41	R48	4.9931	41	-	44,768	100.0	44,768	44,768	8,966	
42	R49	5.1928	42	-	44,768	100.0	44,768	44,768	8,621	
43	R50	5.4005	43	-	44,768	100.0	44,768	44,768	8,290	
44	R51	5.6165	44	-	44,768	100.0	44,768	44,768	7,971	
45	R52	5.8412	45	-	44,768	100.0	44,768	44,768	7,664	
46	R53	6.0748	46	-	44,768	100.0	44,768	44,768	7,369	
合計(総便益額)									793,532	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-3

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	維持管理費節減効果(農業用排水施設)						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同 割引 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	△ 372	187	0.0	0	△ 372	△ 358	
2	R9	1.0816	2	△ 372	187	0.0	0	△ 372	△ 344	
3	R10	1.1249	3	△ 372	187	0.0	0	△ 372	△ 331	
4	R11	1.1699	4	△ 372	187	0.0	0	△ 372	△ 318	
5	R12	1.2167	5	△ 372	187	0.0	0	△ 372	△ 306	
6	R13	1.2653	6	△ 372	187	0.0	0	△ 372	△ 294	
7	R14	1.3159	7	△ 372	187	100.0	187	△ 185	△ 141	
8	R15	1.3686	8	△ 372	187	100.0	187	△ 185	△ 135	
9	R16	1.4233	9	△ 372	187	100.0	187	△ 185	△ 130	
10	R17	1.4802	10	△ 372	187	100.0	187	△ 185	△ 125	
11	R18	1.5395	11	△ 372	187	100.0	187	△ 185	△ 120	
12	R19	1.6010	12	△ 372	187	100.0	187	△ 185	△ 116	
13	R20	1.6651	13	△ 372	187	100.0	187	△ 185	△ 111	
14	R21	1.7317	14	△ 372	187	100.0	187	△ 185	△ 107	
15	R22	1.8009	15	△ 372	187	100.0	187	△ 185	△ 103	
16	R23	1.8730	16	△ 372	187	100.0	187	△ 185	△ 99	
17	R24	1.9479	17	△ 372	187	100.0	187	△ 185	△ 95	
18	R25	2.0258	18	△ 372	187	100.0	187	△ 185	△ 91	
19	R26	2.1068	19	△ 372	187	100.0	187	△ 185	△ 88	
20	R27	2.1911	20	△ 372	187	100.0	187	△ 185	△ 84	
21	R28	2.2788	21	△ 372	187	100.0	187	△ 185	△ 81	
22	R29	2.3699	22	△ 372	187	100.0	187	△ 185	△ 78	
23	R30	2.4647	23	△ 372	187	100.0	187	△ 185	△ 75	
24	R31	2.5633	24	△ 372	187	100.0	187	△ 185	△ 72	
25	R32	2.6658	25	△ 372	187	100.0	187	△ 185	△ 69	
26	R33	2.7725	26	△ 372	187	100.0	187	△ 185	△ 67	
27	R34	2.8834	27	△ 372	187	100.0	187	△ 185	△ 64	
28	R35	2.9987	28	△ 372	187	100.0	187	△ 185	△ 62	
29	R36	3.1187	29	△ 372	187	100.0	187	△ 185	△ 59	
30	R37	3.2434	30	△ 372	187	100.0	187	△ 185	△ 57	
31	R38	3.3731	31	△ 372	187	100.0	187	△ 185	△ 55	
32	R39	3.5081	32	△ 372	187	100.0	187	△ 185	△ 53	
33	R40	3.6484	33	△ 372	187	100.0	187	△ 185	△ 51	
34	R41	3.7943	34	△ 372	187	100.0	187	△ 185	△ 49	
35	R42	3.9461	35	△ 372	187	100.0	187	△ 185	△ 47	
36	R43	4.1039	36	△ 372	187	100.0	187	△ 185	△ 45	
37	R44	4.2681	37	△ 372	187	100.0	187	△ 185	△ 43	
38	R45	4.4388	38	△ 372	187	100.0	187	△ 185	△ 42	
39	R46	4.6164	39	△ 372	187	100.0	187	△ 185	△ 40	
40	R47	4.8010	40	△ 372	187	100.0	187	△ 185	△ 39	
41	R48	4.9931	41	△ 372	187	100.0	187	△ 185	△ 37	
42	R49	5.1928	42	△ 372	187	100.0	187	△ 185	△ 36	
43	R50	5.4005	43	△ 372	187	100.0	187	△ 185	△ 34	
44	R51	5.6165	44	△ 372	187	100.0	187	△ 185	△ 33	
45	R52	5.8412	45	△ 372	187	100.0	187	△ 185	△ 32	
46	R53	6.0748	46	△ 372	187	100.0	187	△ 185	△ 30	
合計 (総便益額)									△ 4,846	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-4

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	景観・環境保全効果(農業用排水施設)						備考
				更新分に 係る効果		新設及び機能向上分 に係る効果		計		
				年効果額 (千円) ②	年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同割左 引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	-	1,004	0.0	0	0	0	
2	R9	1.0816	2	-	1,004	0.0	0	0	0	
3	R10	1.1249	3	-	1,004	0.0	0	0	0	
4	R11	1.1699	4	-	1,004	0.0	0	0	0	
5	R12	1.2167	5	-	1,004	0.0	0	0	0	
6	R13	1.2653	6	-	1,004	0.0	0	0	0	
7	R14	1.3159	7	-	1,004	100.0	1,004	1,004	763	
8	R15	1.3686	8	-	1,004	100.0	1,004	1,004	734	
9	R16	1.4233	9	-	1,004	100.0	1,004	1,004	705	
10	R17	1.4802	10	-	1,004	100.0	1,004	1,004	678	
11	R18	1.5395	11	-	1,004	100.0	1,004	1,004	652	
12	R19	1.6010	12	-	1,004	100.0	1,004	1,004	627	
13	R20	1.6651	13	-	1,004	100.0	1,004	1,004	603	
14	R21	1.7317	14	-	1,004	100.0	1,004	1,004	580	
15	R22	1.8009	15	-	1,004	100.0	1,004	1,004	557	
16	R23	1.8730	16	-	1,004	100.0	1,004	1,004	536	
17	R24	1.9479	17	-	1,004	100.0	1,004	1,004	515	
18	R25	2.0258	18	-	1,004	100.0	1,004	1,004	496	
19	R26	2.1068	19	-	1,004	100.0	1,004	1,004	477	
20	R27	2.1911	20	-	1,004	100.0	1,004	1,004	458	
21	R28	2.2788	21	-	1,004	100.0	1,004	1,004	441	
22	R29	2.3699	22	-	1,004	100.0	1,004	1,004	424	
23	R30	2.4647	23	-	1,004	100.0	1,004	1,004	407	
24	R31	2.5633	24	-	1,004	100.0	1,004	1,004	392	
25	R32	2.6658	25	-	1,004	100.0	1,004	1,004	377	
26	R33	2.7725	26	-	1,004	100.0	1,004	1,004	362	
27	R34	2.8834	27	-	1,004	100.0	1,004	1,004	348	
28	R35	2.9987	28	-	1,004	100.0	1,004	1,004	335	
29	R36	3.1187	29	-	1,004	100.0	1,004	1,004	322	
30	R37	3.2434	30	-	1,004	100.0	1,004	1,004	310	
31	R38	3.3731	31	-	1,004	100.0	1,004	1,004	298	
32	R39	3.5081	32	-	1,004	100.0	1,004	1,004	286	
33	R40	3.6484	33	-	1,004	100.0	1,004	1,004	275	
34	R41	3.7943	34	-	1,004	100.0	1,004	1,004	265	
35	R42	3.9461	35	-	1,004	100.0	1,004	1,004	254	
36	R43	4.1039	36	-	1,004	100.0	1,004	1,004	245	
37	R44	4.2681	37	-	1,004	100.0	1,004	1,004	235	
38	R45	4.4388	38	-	1,004	100.0	1,004	1,004	226	
39	R46	4.6164	39	-	1,004	100.0	1,004	1,004	217	
40	R47	4.8010	40	-	1,004	100.0	1,004	1,004	209	
41	R48	4.9931	41	-	1,004	100.0	1,004	1,004	201	
42	R49	5.1928	42	-	1,004	100.0	1,004	1,004	193	
43	R50	5.4005	43	-	1,004	100.0	1,004	1,004	186	
44	R51	5.6165	44	-	1,004	100.0	1,004	1,004	179	
45	R52	5.8412	45	-	1,004	100.0	1,004	1,004	172	
46	R53	6.0748	46	-	1,004	100.0	1,004	1,004	165	
合計(総便益額)									15,705	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-5

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	国産農産物安定供給効果(農業用排水施設)					備考	
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計 同 左 割 引 後 (千円) ⑦=⑥÷①		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割 合 (%) ④	年 発 生 効 果 額 (千円) ⑤=③×④			年効果額 (千円) ⑥=②+⑤
1	R8	1.0400	1	415	-	-	-	415	399	
2	R9	1.0816	2	415	-	-	-	415	384	
3	R10	1.1249	3	415	-	-	-	415	369	
4	R11	1.1699	4	415	-	-	-	415	355	
5	R12	1.2167	5	415	-	-	-	415	341	
6	R13	1.2653	6	415	-	-	-	415	328	
7	R14	1.3159	7	415	-	-	-	415	315	
8	R15	1.3686	8	415	-	-	-	415	303	
9	R16	1.4233	9	415	-	-	-	415	292	
10	R17	1.4802	10	415	-	-	-	415	280	
11	R18	1.5395	11	415	-	-	-	415	270	
12	R19	1.6010	12	415	-	-	-	415	259	
13	R20	1.6651	13	415	-	-	-	415	249	
14	R21	1.7317	14	415	-	-	-	415	240	
15	R22	1.8009	15	415	-	-	-	415	230	
16	R23	1.8730	16	415	-	-	-	415	222	
17	R24	1.9479	17	415	-	-	-	415	213	
18	R25	2.0258	18	415	-	-	-	415	205	
19	R26	2.1068	19	415	-	-	-	415	197	
20	R27	2.1911	20	415	-	-	-	415	189	
21	R28	2.2788	21	415	-	-	-	415	182	
22	R29	2.3699	22	415	-	-	-	415	175	
23	R30	2.4647	23	415	-	-	-	415	168	
24	R31	2.5633	24	415	-	-	-	415	162	
25	R32	2.6658	25	415	-	-	-	415	156	
26	R33	2.7725	26	415	-	-	-	415	150	
27	R34	2.8834	27	415	-	-	-	415	144	
28	R35	2.9987	28	415	-	-	-	415	138	
29	R36	3.1187	29	415	-	-	-	415	133	
30	R37	3.2434	30	415	-	-	-	415	128	
31	R38	3.3731	31	415	-	-	-	415	123	
32	R39	3.5081	32	415	-	-	-	415	118	
33	R40	3.6484	33	415	-	-	-	415	114	
34	R41	3.7943	34	415	-	-	-	415	109	
35	R42	3.9461	35	415	-	-	-	415	105	
36	R43	4.1039	36	415	-	-	-	415	101	
37	R44	4.2681	37	415	-	-	-	415	97	
38	R45	4.4388	38	415	-	-	-	415	93	
39	R46	4.6164	39	415	-	-	-	415	90	
40	R47	4.8010	40	415	-	-	-	415	86	
41	R48	4.9931	41	415	-	-	-	415	83	
42	R49	5.1928	42	415	-	-	-	415	80	
43	R50	5.4005	43	415	-	-	-	415	77	
44	R51	5.6165	44	415	-	-	-	415	74	
45	R52	5.8412	45	415	-	-	-	415	71	
46	R53	6.0748	46	415	-	-	-	415	68	
合計(総便益額)									8,665	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-5

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	国産農産物安定供給効果(暗渠排水)						備考
				更新分に 係る効果		新設及び機能向上分 に係る効果		計		
				年効果額 (千円) ②	年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	-	1,869	0.0	0	0	0	
2	R9	1.0816	2	-	1,869	16.9	316	316	292	
3	R10	1.1249	3	-	1,869	33.0	617	617	548	
4	R11	1.1699	4	-	1,869	50.0	935	935	799	
5	R12	1.2167	5	-	1,869	66.9	1,250	1,250	1,027	
6	R13	1.2653	6	-	1,869	83.0	1,551	1,551	1,226	
7	R14	1.3159	7	-	1,869	100.0	1,869	1,869	1,420	
8	R15	1.3686	8	-	1,869	100.0	1,869	1,869	1,366	
9	R16	1.4233	9	-	1,869	100.0	1,869	1,869	1,313	
10	R17	1.4802	10	-	1,869	100.0	1,869	1,869	1,263	
11	R18	1.5395	11	-	1,869	100.0	1,869	1,869	1,214	
12	R19	1.6010	12	-	1,869	100.0	1,869	1,869	1,167	
13	R20	1.6651	13	-	1,869	100.0	1,869	1,869	1,122	
14	R21	1.7317	14	-	1,869	100.0	1,869	1,869	1,079	
15	R22	1.8009	15	-	1,869	100.0	1,869	1,869	1,038	
16	R23	1.8730	16	-	1,869	100.0	1,869	1,869	998	
17	R24	1.9479	17	-	1,869	100.0	1,869	1,869	959	
18	R25	2.0258	18	-	1,869	100.0	1,869	1,869	923	
19	R26	2.1068	19	-	1,869	100.0	1,869	1,869	887	
20	R27	2.1911	20	-	1,869	100.0	1,869	1,869	853	
21	R28	2.2788	21	-	1,869	100.0	1,869	1,869	820	
22	R29	2.3699	22	-	1,869	100.0	1,869	1,869	789	
23	R30	2.4647	23	-	1,869	100.0	1,869	1,869	758	
24	R31	2.5633	24	-	1,869	100.0	1,869	1,869	729	
25	R32	2.6658	25	-	1,869	100.0	1,869	1,869	701	
26	R33	2.7725	26	-	1,869	100.0	1,869	1,869	674	
27	R34	2.8834	27	-	1,869	100.0	1,869	1,869	648	
28	R35	2.9987	28	-	1,869	100.0	1,869	1,869	623	
29	R36	3.1187	29	-	1,869	100.0	1,869	1,869	599	
30	R37	3.2434	30	-	1,869	100.0	1,869	1,869	576	
31	R38	3.3731	31	-	1,869	100.0	1,869	1,869	554	
32	R39	3.5081	32	-	1,869	100.0	1,869	1,869	533	
33	R40	3.6484	33	-	1,869	100.0	1,869	1,869	512	
34	R41	3.7943	34	-	1,869	100.0	1,869	1,869	493	
35	R42	3.9461	35	-	1,869	100.0	1,869	1,869	474	
36	R43	4.1039	36	-	1,869	100.0	1,869	1,869	455	
37	R44	4.2681	37	-	1,869	100.0	1,869	1,869	438	
38	R45	4.4388	38	-	1,869	100.0	1,869	1,869	421	
39	R46	4.6164	39	-	1,869	100.0	1,869	1,869	405	
40	R47	4.8010	40	-	1,869	100.0	1,869	1,869	389	
41	R48	4.9931	41	-	1,869	100.0	1,869	1,869	374	
42	R49	5.1928	42	-	1,869	100.0	1,869	1,869	360	
43	R50	5.4005	43	-	1,869	100.0	1,869	1,869	346	
44	R51	5.6165	44	-	1,869	100.0	1,869	1,869	333	
45	R52	5.8412	45	-	1,869	100.0	1,869	1,869	320	
46	R53	6.0748	46	-	1,869	100.0	1,869	1,869	308	
合計 (総便益額)									33,126	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

2 年効果額の算定方法

(1) 作物生産効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の作物生産量の比較により年効果額を算定した。

○対象作物

水稲、大麦、そば、大豆、たまねぎ

○年効果額算定式

年効果額＝単収増加年効果額^{※1}＋作付増減年効果額^{※2}

※1 単収増加年効果額＝作付面積×（事業ありせば単収－事業なかりせば単収）
×単価×単収増加の純益率

※2 作付増減年効果額＝（事業ありせば作付面積－事業なかりせば作付面積）
×単収×単価×作付増減の純益率

○年効果額の算定

（農業用排水施設）

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収			生産増減量 ③＝ ①×②÷100	生産物単価 ④	増加粗収益額 ⑤＝③×④	純益率 ⑥	年効果額 ⑦＝⑤×⑥
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業なかりせば単収	事業ありせば単収	効果対象単収 ②					
水稲	更新	ha	ha	ha	単収増 (乾田化-2)	kg/10a	kg/10a	kg/10a	t	千円/t	千円	%	千円
		57.2	57.2	3.9		515	530	15	0.6	254	152	89	135
					小計	-	-	-	0.6	254	152	89	135
大麦	更新	27.5	27.5	27.5	単収増 (田畑輪換)	317	365	48	13.2	53	700	90	630
					小計	-	-	-	13.2	53	700	90	630
					大麦計	-	-	-	13.2	-	700	90	630
そば	更新	0.5	0.5	0.5	単収増 (田畑輪換)	36	41	5	-	268	-	-	-
					小計	-	-	-	-	268	-	-	-
					そば計	-	-	-	-	-	-	-	-
大豆	更新	22.0	22.0	22.0	単収増 (田畑輪換)	108	124	16	3.5	166	581	88	511
					小計	-	-	-	3.5	166	581	88	511
					大豆計	-	-	-	3.5	-	581	88	511
たまねぎ	更新	0.3	0.3	0.3	単収増 (田畑輪換)	4,083	4,695	612	1.8	59	106	75	80
					小計	-	-	-	1.8	59	106	75	80
					たまねぎ計	-	-	-	1.8	-	106	75	80
水田計	新設	-	-										
	更新	107.5	107.5							1,539		1,356	
新設													
更新										1,539		1,356	
合計										1,539		1,356	

(暗渠排水)

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収			生産増減量 ③= ①×②÷100	生産物単価 ④	増加粗収益額 ⑤=③×④	純益率 ⑥	年効果額 ⑦=⑤×⑥
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業なかりせば単収	事業ありせば単収	効果算定対象単収 ②					
		ha	ha	ha		kg/10a	kg/10a	kg/10a	t	千円/t	千円	%	千円
水稻	新設	61.3	61.3	61.3	単収増 (乾田化-1)	530	562	32	19.6	254	4,978	89	4,430
					小計	-	-	-	19.6	254	4,978	89	4,430
					水稻計	-	-	-	19.6	-	4,978	-	4,430
そば	新設	0.6	0.9	0.3	作付増	-	-	41	0.1	268	27	-	-
					小計	-	-	-	0.1	268	27	-	-
					水稻計	-	-	-	0.1	-	27	-	-
たまねぎ	新設	0.3	5.0	4.7	作付増	-	-	4,695	220.7	59	13,021	5	651
					小計	-	-	-	220.7	59	13,021	5	651
					水稻計	-	-	-	221	-	13,021	-	651
水田計	新設	115.1	120.1								18,026		5,081
	更新	-	-								-		-
	新設										18,026		5,081
	更新										-		-
	合計										18,026		5,081

- ・ 作付面積 : 各作物の作付面積は以下のとおり
「現況作付面積」 ・ 関係市の作付実績に基づき決定した。
「計画作付面積」 ・ 新設整備では、県、関係市の農業振興計画や関係者の意向を踏まえ決定した。
・ 更新整備では、現況施設のもとで作物生産量が維持される面積であり、現況＝計画とした。
- ・ 単 収 : 増加粗収益額の算定に用いる各作物の単収については、以下のとおり
「事業なかりせば単収」 ・ 新設整備では、現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。
・ 更新整備では、排水機能の喪失時の単収であり、現況単収に効果要因別の失われる増収率分を減じて算定した。
「事業ありせば単収」 ・ 新設整備では、計画単収であり、現況単収に効果要因別の増収率を考慮して算定した。
・ 更新整備では、現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。
「効果算定対象単収」 ・ 事業ありせば単収と事業なかりせば単収の差である。
(作付増においては、地域の計画単収である。)
- ・ 生産物単価 : 農作物価統計等による最近5か年の販売価格に消費者物価指数を反映した価格を用いた。
- ・ 純 益 率 : 「土地改良事業の費用対効果分析必要な諸係数について」による標準値等を用いた。

(2) 営農経費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と事業を実施しなかった場合（事業なかりせば）の労働費、機械経費、その他の生産資材費について比較し、それらの営農経費の増減から年効果額を算定した。

○対象作物

水稻、大麦、そば、大豆、たまねぎ

○効果算定式

年効果額 = (事業なかりせば単位面積当たり営農経費 - 事業ありせば単位面積当たり営農経費) × 効果発生面積

○年効果額の算定

(農業用排水施設)

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費節減額 ⑤ = (①-②) + (③-④)	効果発生 面積 ⑥	年効果額 ⑦ = ⑤ × ⑥
	新 設		更 新				
	現況 (事業なかりせば) ①	計画 (事業ありせば) ②	事業なかりせば 営農経費 ③	現況 (事業ありせば) ④			
	円	円	円	円	円	ha	千円
水稻 (利用集積)	5,214,692	1,152,668	-	-	4,062,024	17.3	70,273
大麦 (利用集積)	3,754,009	661,960	-	-	3,092,049	8.3	25,664
そば (利用集積)	3,682,675	617,675	-	-	3,065,000	0.2	613
大豆 (利用集積)	2,095,795	650,491	-	-	1,445,304	6.6	9,539
たまねぎ (利用集積)	3,529,622	1,586,764	-	-	1,942,858	1.4	2,720
水稻 (排水改良)	-	-	3,359,123	3,365,033	△5,910	57.2	△338
大麦 (排水改良)	-	-	2,305,788	2,292,298	13,490	27.5	371
そば (排水改良)	-	-	2,178,132	2,179,378	△1,246	0.5	0

大豆 (排水改良)	-	-	1,434,741	1,433,741	1,000	22.0	22
たまねぎ (排水改良)	-	-	2,561,680	2,571,680	△10,000	0.3	△3
新 設							108,809
更 新							52
合 計							108,861

(暗渠排水)

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費節減額 ⑤= (①-②) + (③-④)	効 果 発 生 面 積 ⑥	年効果額 ⑦=⑤×⑥
	新 設		更 新				
	現況 (事業なかりせば) ①	計画 (事業ありせば) ②	事業なかりせば 営農経費 ③	現況 (事業ありせば) ④			
水稻 (排水改良)	円 3,551,802	円 3,021,965	円 -	円 -	円 529,837	ha 61.3	千円 32,479
大麦 (排水改良)	2,376,621	2,066,689	-	-	309,932	29.4	9,112
そば (排水改良)	2,207,925	2,109,036	-	-	98,889	0.9	89
大豆 (排水改良)	1,498,383	1,373,446	-	-	124,937	23.5	2,936
たまねぎ (排水改良)	2,586,120	2,555,720	-	-	30,400	5.0	152
新 設							44,768
更 新							-
合 計							44,768

・各作物のha当たり営農経費は以下のとおり

- ・ 現況営農経費 : 地域の営農経費であり、福井県の農業経営指標等に基づき算定した。
- ・ 計画営農経費 : 想定される事業により増減した地域の営農経費であり、福井県の農業経営指標等を基に、地域の農業関係機関、普及センターの指導方針を反映し算定した。
- ・ 事業なかりせば営農経費 : 地域の水利施設の機能が失われた場合に想定される水管理作業に係る経費を考慮し算定した。

(3) 維持管理費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、維持管理費の増減をもって年効果額を算定した。

○対象施設

排水路

○効果算定式

年効果額＝事業なかりせば維持管理費－事業ありせば維持管理費

○年効果額の算定

区分	新設	現況維持管理費①	事業ありせば維持管理費②	年効果額 ③＝①－②
	更新	事業なかりせば維持管理費①	現況維持管理費②	
		千円	千円	千円
新設整備		800	613	187
更新整備		428	800	△ 372
合 計				△ 185

・事業なかりせば維持管理費

：現況施設の維持管理費を基に、施設の機能を失った場合に想定される安全管理等に最低限必要な維持管理を算定した。

・事業ありせば維持管理費

：現況施設の維持管理費を基に、本事業の実施により見込まれる維持管理費の増減を考慮し算定した。

・現況維持管理費

：現況施設の維持管理費に基づき算定した。

(4) 景観・環境保全効果

○効果の考え方

景観や自然環境が保全、創設される効果であり、市場で扱われていない価値であるため、地域住民等にWTP (Willingness To Pay: 支払意思額) を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM (Contingent Valuation Method: 仮想市場法) により効果を算定した。

○対象施設

環境保全施設

○年効果額算定式

年効果額 = 一戸当たりの支払意思額 × 受益範囲世帯数 × { C1 / (C1 + C2) }

ただし、

C1 : 景観・環境保全施設の資本還元額のうち当該土地改良事業分

C2 : 景観・環境保全施設の資本還元額のうちその他事業分

○年効果額の算定

区分	土地改良施設名	CVMによる効果額 ①	景観・環境保全施設の資本還元額 ②=③+④	当該土地改良事業の資本還元額 ③	その他事業の資本還元額 ④	当該土地改良事業における効果額 ⑤=①×(③/②)
		千円	千円	千円	千円	千円
新設整備	排水路	1,004	57,338	57,338	-	1,004

(5) その他の効果 (国産農産物安定供給効果)

○効果の考え方

国産農産物の安定供給に対して国民が感じる安心感の効果であるため、一般国民に対してWTP (Willingness To Pay: 支払意思額) を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM (Contingent Valuation Method: 仮想市場法) により年効果額を算定した。

○対象作物

水稲、大麦、そば、大豆、たまねぎ

○効果算定式

年効果額 = 年増加粗収益額 × 単位食料生産額当たり効果額 (原単位)
 + 年増加供給熱量 × 単位供給熱量当たり効果額 (原単位)

○年効果額の算定

区分	増加粗収益額 ①	増加供給熱量 (千kcal) ②	単位食料生産 額当たり効果 額 (円/千円) ③	単位供給熱量 当たり効果額 (円/千kcal) ④	当該土地改良 事業における 年効果額 ⑤ = ① × ③ + ② × ④
	千円	千kcal	円/千円	円/千kcal	千円
新設整備 (暗渠排水)	18,026	99,526	49	9.9	1,869
更新整備 (農業用排水施設)	1,539	34,300	49	9.9	415
合計	19,565	133,826			2,284

- ・増加粗収益額 : 作物生産効果の算定過程で整理した結果を用いて、事業ありせばと事業なかりせばにおける増加粗収益額及び増加供給熱量を整理した。
- ・単位食料生産額
当たり効果額 : 一般国民に対し国産農産物の安定供給についてWTPを尋ねるCVMにより、年効果額の算定に用いる単位食料生産額当たり効果額 (原単位) は49円/千円、単位供給熱量当たり効果額 (原単位) は9.9円/千kcalとした

3 評価に使用した資料

【共通】

- ・ 農林水産省農村振興局整備部（監修）[改訂版]「新たな土地改良の効果算定マニュアル」大成出版社（平成27年9月5日第2版第1刷発行）
- ・ 「土地改良事業の費用対効果分析マニュアルの制定について」（平成19年3月28日付け18農振第1597号農林水産省農村振興局企画部長通知（最終改正：令和7年4月2日））
- ・ 「国産農産物安定供給効果」について（平成27年3月27日付け26農振第2072号農林水産省農村振興局整備部長通知（令和5年4月3日一部改正））
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析における参考資料等について（令和4年4月11日付け農林水産省農村振興局整備部関係課関係班連名事務連絡）
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について（平成19年3月28日付け18農振第1598号農林水産省農村振興局企画部長通知（令和7年4月1日一部改正））
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数等について（令和7年4月1日付け農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課課長補佐（事業効果班）事務連絡）

【費用】

- ・ 当該事業費に係る一般に公表されていない諸元については、福井県農林水産部農村振興課調

【便益】

- ・ 北陸農政局統計部（令和5～6年）「北陸農林水産統計年報」北陸農政局統計部
- ・ 農林水産省大臣官房統計部（平成27年8月）「平成27年農業物価統計」農林水産省
- ・ 令和2年国勢調査(<https://www.e-stat.go.jp/>)
- ・ 農林水産省統計部（令和2年）「令和2年農林業センサス福井県統計書」農林水産統計協会
- ・ 上記以外の効果算定に必要な各種諸元については、福井県農林水産部農村振興課調べ